

2018・小学校低学年「ルラルさんのだいくしごと」

はじめてルラルさんを見たとき、やさしそう / おもしろそう / おじさん / へんなかみがた / だなと思いました。

ルラルさんはだいくしごとがじょうずです。私はもしルラルさんがともだちなら、

をつくって / なおして 欲しいと思いました。

ルラルさんはあまもりをなおすためにやねにのぼりました。私は高いところがにがて / 少しこわい / 好きなので、もし私がやねにのぼるとしたら

と思いました。

本の中のルラルさんのうちは一階しかないけど、二階 / 三階 / マンション / だとしたらもっと高いので、

とてもこわい / おちたらたいへん / 下を見られない

と思いました。

ルラルさんはおりようとしてたけど、はしごがたおれておりられなくなっていました。

私なら、(やねからおりる方法 / アイデア)

をしたらおりられるのではないかと思います。

助けをもとめてどうぶつたちがやってきたけど、はしごをみつけてきしゃごっこをはじめてしまいます。

そんなどうぶつたちに、

と思いました。

でもルラルさんはあそびにいつてしまったどうぶつたちをおこったりしません。私は

ルラルさんは

だなと思いました。

もし私ならたかいやねからおりられなくなったら、

かんがえる / かんじる / する と思いました。

ルラルさんは予定していたことができなくなりました。私も前に(予定どおりにいかなかった体験) のとき、

(そのときの気持ちやこうどう)

という気持ちになりました。 / ~をしました。

ルラルさんはあきらめて、のんびりとねころがって、空をながめています。私も(のんびりした体験) のとき、

(空を見て / ねころがって / 音楽をきいて / 本をよんで) のんびりとしたことがある。そのとき私は、

という気持ちになりました。

予定どおりにできたときには、

という気持ちになります。

予定どおりではないけど、のんびりするじかんがあると

という気持ちになります。

あそびおわってどうぶつたちがかえってきて、「たのしかった」とはなすのをきいて、ルラルさんは「それは、

よかったね。」とわらいました。もし私なら、

だと思います。

私もルラルさんのように、

というきもちをもちたいです。